

ワーカーズ・コレクティブそら



〒 343-0844
越谷市大間野町 1-21-2
生活クラブ越谷センター内
tel 048-423-7991
(コールセンター)

安全性の高い食材や日用品を扱う生活クラブ生協の品物を、組合員宅に配達する「そら」。第1回緊急事態宣言が発出された時期 街から人が消え、代わりに宅配事業者の仕事は感染の恐怖と隣り合わせで増加した。

ライフラインをつなぐために

朝の検温・手指の消毒・配達時のマスクの着用も当たり前の日常風景となっています。今では、配達方法もインターネット越しのご挨拶と置き配が主流になっており、対面でのコミュニケーションが取りにくくなりました。コロナが蔓延し始めた2年前は組合員も私達もひたすら接触を避け、見えない恐怖でいっぱいでした。今でも個々に合わせた配達方法と丁寧な配達と対応に気を付けています。

2020年度の生活クラブの利用率は前年度比112%となり、2020年4月から5月の2カ月間緊急事態宣言が発令された時は、毎日お正月並みの荷量でトラックの積込み作業に悲鳴をあげる毎日でした。特に一時的に品薄になったロールペーパーは注文が殺到し、山のように積まれたロールペーパーを見た時は心が折れそうになりました。でも物流が止まってしまった東日本大震災の時とは違い、注文された品物は生産者のみなさんのおかげでセンターに届き、組合員のライフラインを繋いでいくために懸命に配達をする毎日でした。注文したものが次週に、というあたりまえな事に感謝されることも多く、今でも日々の励みになっています。

ワーカーズ「そら」の運営は月1回の全体会議で業務や運営についての報告や確認事項の共有をしています。コロナ禍により、オンライン(Zoom)でも参加できるようにして感染リスク削減につめています。これからも様々なことに柔軟に対応して、メンバーで協力して信頼される配達を目指していきます！

坂本郁子

ワーカーズ・コレクティブむすび



〒 330-0046
さいたま市
浦和区大原 3-10-1
埼玉県障害者
交流センター内
tel/fax 048-831-6600

「むすび」は埼玉県障害者交流センター内で施設内食堂を運営。障害者交流センターは新型コロナ感染拡大防止のため、全館閉鎖期間に入り、それに伴い施設内のむすび食堂も営業休止となった。

新たな事業展開で継続を

コロナ禍では感染防止対策を行った上、営業時間を短縮して再開しましたが、交流センターの利用制限が続いており、利用者は極端に少ない状況でした。当然食堂のお客さんも少なく、収入は伸びません。「このままでは続けていけない…」。メンバーにも重い雰囲気が広がっていました。

そして2度目の営業休止に。一年半の間で計10ヵ月が休止期間でした。この間に何人かのメンバーが脱退しました。残ったメンバーも様々な思いや不安を感じていました。また、いつ再開できるかわからない中で、再開準備を続けることも苦しくなっていました。

しかし、交流センターを訪れるお客さんに安心安全でおいしい食事を提供したい、「おいしい」と言ってくれるお客さんの笑顔をまた見たい気持ちはありました。そのころワーカーズ・コレクティブ連合会食部門会議からむすびへの支援として、冷凍惣菜ハンバーグをむすびが作り仲間のワーカーズに販売する提案がありました。7月から2度目の営業を再開しましたが、コロナ前のような利用高は見込めるはずもなく、収入を補う新事業を展開する必要がありました。私たちは冷凍惣菜の製造販売を行うことにしました。また、連合会の支援金で冷凍ハンバーグを始める資金も確保できるようになりました。

営業再開だけでなく冷凍惣菜の事業を開始することで、メンバーの気持ちも徐々に前向きになってきました。運営の安定にはまだまだですが、新しいメンバーも加わり、頑張っていこうと思っています。

盛迫由香